

まち・ひと・しごと創生総合戦略の 進捗管理について（R3決算）

I はじめに

本市においては、「南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定し、人口減少や地域活力の低下等の課題解消に対する取り組みがスタートしており、4つの基本目標のもと規定した35件の具体的な施策を如何に効率的で効果的に展開していくかが求められています。

そのため、当該戦略においては、確実な成果を達成するため、施策と対応させた40件の客観的な重要業績指標（KPI）を設定し、実績と状況に応じて事業内容を見直す（PDCAサイクルにより戦略を実践する）こととしています。

このたび、令和3年度に実施した施策について内部評価を実施しました。

II 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

(1) 計画期間

〔人口ビジョン〕 令和2年度～令和47年度（46年間）

〔地域創生総合戦略〕 令和2年度～令和6年度（5年間）

(2) 基本目標

〔Ⅰ〕 地域ぐるみで支え合い、笑顔がたえないまち

〔Ⅱ〕 働く場を得て、ずっと住み続けたいまち

〔Ⅲ〕 魅力と味力があふれるまち（ふるさと）

〔Ⅳ〕 子育てしやすいまち

(3) 進捗管理

総合戦略では、各事業に関する実績報告及び活動予定について、外部有識者等で構成する総合戦略検証委員会等にて評価、検証、見直し等を実施することとしています。

III 実施状況の評価、進捗の管理

1 評価内容及び評価基準

- (1) 令和3年度において実施した35施策について、40の重要業績指標（KPI）をもとに『達成度』の評価を実施しました。
- (2) 評価基準は次表のとおり。

区分	評価（達成状況）
A	目標達成に向けて概ね順調
B	やや遅れが生じており、取り組みを加速化させる必要がある
C	遅れが生じており、さらなる取り組みが必要
D	このままでは目標達成が困難
—	コロナ禍の影響により客観的な評価が困難なもの

- (3) 前号の評価基準において評価した結果を基に、評価が特に『D』と判断された項目については、見直しの対象として今年度中に改善・改革の実施を必須とします。

2 施策の取組状況（令和3年度の取組結果）

- (1) 評価基準に基づく実施状況

区分	令和3年度施策	
	該当指標数	構成比
A	9件	22.5%
B	19件	47.5%
C	2件	5.0%
D	0件	0%
—	10件	25.0%
合計	40件	100.0%

(2) 4つの基本目標における主な施策

基本目標	施策目標	達成状況	今後の方針	R3実施事業
I	地域力を創造するコミュニティの構築	A	<p>少子高齢化・人口減少に伴うコミュニティの希薄化、性別による固定的な役割分担意識などがあり、子育て世代が暮らしやすい環境の構築を図るため男女共同参画の推進に取り組む。</p> <p>また、コロナ禍の影響により地域での取組みが休止、縮小されている状況にある。、アフターコロナを見据え、これらの取組みの再開、継続していけるよう支援を行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり交付金事業 ・地域づくりチャレンジ事業補助金
II	田舎暮らしの促進	A	<p>移住定住施策について、現状においては目標値を上回る成果を残している。</p> <p>地方への移住機運の中で、確実に需要を獲得するため、取り込みたい人材等のターゲットを明確にするなど、これまでより一歩踏み込んだ施策を展開し、全庁的かつ戦略的な移住・定住の促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マイホーム取得事業 ・田舎暮らし相談窓口の充実 ・空き家バンク制度 ・空き家活用促進事業 ・移住支援事業支援金
III	観光交流人口及び関係人口の拡大	B	<p>コロナ禍の影響により令和2年度に引き続き、観光施設の入込客数は減少している。今後はアフターコロナに向けた取組み、特に2025年の大阪万博を見据え、大鳴門橋自転車道構想に関連した道の駅うずしおのリニューアルの事業推進を図るとともに、鳴門市と連携した広域観光ブランディング事業を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路島総合観光戦略推進プロジェクト ・観光施設改修事業 ・観光促進支援事業補助金 ・ASAトライアングルを結び、サイクリングツーリズム推進事業
IV	子育てしやすく安心して暮らせる環境と地域との協働支援体制づくり	B	<p>新型コロナウイルスによる社会不安等の影響により、出生数が減少している。安心して子どもを産み育てることができるよう妊娠前、出産期から切れ目のない支援を継続して実施していく。</p> <p>また、将来を担う子どもたちの育成のため「学ぶ楽しさ日本一」の事業推進、取組みの強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て学習・支援センター事業 ・ファミリーサポートセンター事業 ・出産祝金事業 ・児童虐待防止対策事業 ・児童健全育成家庭環境支援事業 ・スクールチャレンジ事業 ・アフタースクール事業